

令和8年3月4日

世田谷区立東深沢小学校  
校長 奥長 英樹 様

世田谷区立東深沢小学校  
学校関係者評価委員会

## 学 校 関 係 者 評 価 委 員 会 報 告 書

### 1 調査の実施方法

(1) アンケートの作成・配布（11月下旬）

<対象>・児童（全学年）・保護者（全学年・児童数）・地域（町会/商店会/その他）

(2) アンケート実施（紙面回答）回収（締切り：11月26日）

(3) 校内においてデータ集計作業（12月10日完了）

(4) 学校関係者評価委員会（12月12日・17日）

集計結果の概要を確認。

(6) 学校関係者評価委員会（令和8年1月21日）

各委員より、集計結果の数値傾向を踏まえ意見を出し合い、課題を検討した。

(7) 学校関係者評価委員会（令和8年2月下旬）

委員会にて指摘のあった点を取りまとめ、修正・追加・削除を行い、報告書の原案を作成した。

(8) 学校関係者評価委員会（令和8年3月4日）

学校運営委員会にて、学校関係者評価概要説明。

各委員と報告書の最終的な確認を行う。

### 2 アンケート結果の分析

○ 保護者回収率

今年度 90.3% 昨年度 94.3% 一昨年度 90.9%

○ 地域回収率

今年度 59.0% 昨年度 60.5% 一昨年度 65.9%

## 1 学習指導について

「学ぶことが楽しい」という項目については、今年度も全体として肯定的な評価が高く、本校の学習活動が児童にとって充実したものとなっていることがうかがえる。学年による差異は見られるものの、これは学習内容や発達段階の違いによる自然な傾向と考えられる。

タブレットの活用については、使用経験の違いや学習内容による差が見られるが、低学年においては基礎的な学習習慣の形成が優先される段階であり、数値の差は必ずしも課題を示すものではないと考えられる。中学校進学後の活用状況からも、本校における日常的な学習活動がICT活用の基礎を培っていることがうかがえる。

全体として、本校の学習指導は指導目標に向かって適切に行われており、「主体的に学ぶ」姿勢と「探究的な学び」を実現させる力の育成につながっていると評価できる。

## 2 生活指導について

生活指導については、一部の学年において数値の変動が見られるものの、全体として大きな課題は見られない。特に低学年では、決まりを意識して行動するという段階には至らない場合もあるが、実際の生活場面においては適切に行動できている様子が見られる。

このことは、教職員が児童一人一人の発達段階に応じて丁寧に関わり、日常的な生活指導を継続している成果であると考えられる。また、児童の成長過程において行動面の安定が見られることから、本校の生活指導が着実に機能していることがうかがえる。

今後も児童理解を基盤とした継続的な指導を通して、児童の自律的な生活態度の育成を推進していくことが望まれる。

## 3 学校行事について

「子どもが創る」学校行事は本校の教育活動を特徴づけていると言える。学校行事に対しては今年度も引き続き高い肯定的評価（97%）がなされており、児童が学校行事を楽しみながら主体的に取り組んでいる様子が見られる。

学校行事は、日常の学習活動とは異なる経験を通して、児童が仲間と協力しながら目標に向かって取り組む貴重な機会となっている。こうした活動を通して得られる達成感や成徳感、児童の成長に大きく寄与していると考えられる。このような成果は、教職員が学校行事の目的を明確にし、学年および学校全体で組織的に取り組んでいることによるものである。

## 4 キャリア教育について

キャリア教育は、単に職業について学ぶことにとどまらず、自分の生き方や将来について主体的に考える力を育成する重要な教育活動である。本校においても日常の教育活動の中で継続的に取り組まれているものと考えられるが、その意義や具体的な取組が十分に伝わっていない可能性がある。

今後は、児童がキャリア教育の意味を理解し、自らの将来について考える機会をより意識的に位置付けるとともに、保護者への情報提供の工夫を通して、取組の可視化を図っていくことが望まれる。

## 5 先生について

教職員に関する評価は、今年度も児童および保護者の双方において高い肯定的評価（児童：91% 保護者：89%）が維持されており、本校の教職員が児童一人一人に丁寧に向き合いながら指導を行っていることが確認された。

特に低学年において高い評価が見られることは、発達段階に応じたきめ細やかな指導が実施されている成果であると考えられる。また、高学年においては児童の自立を促す指導が行われていることが評価の変動に表れている可能性もある。

総じて、本校の教職員は児童との信頼関係を基盤とした教育活動を展開しており、その指導体制は適切に機能していると考えられる。

## 6 全般について

全般についての評価からは、児童が学校生活に概ね満足し、安定した学校生活を送っている様子がうかがえる。特に、学校生活の楽しさと友人関係の充実には相関が見られ、児童が良好な人間関係の中で学校生活を送っていることが、本校における教育環境の安定につながっているものと考えられる。

今年度、プレクラスが初めて実施されたが保護者評価（1年生のみ）はさまざまである。保護者にとってはプレクラスの効果の様相が判断しづらい側面があったと思われる。この取組に対する評価を丁寧に継続したいと考えている。

## 7 学校からの情報提供について

学校からの情報提供については、今年度は保護者の評価に向上が見られ、学校の情報発信がより効果的に行われていることが確認された。

これは、連絡ツール（すぐーる）の活用や動画配信など、情報提供方法の工夫によって学校の教育活動が具体的かつ迅速に伝えられるようになった成果であると考えられる。

一方で、「学び舎」における中学校との関わりについては、機会の設定や情報提供の工夫によって、児童や保護者の理解や関心をさらに高めていくことが望まれる。

## 8 学校運営について

学校運営については、今年度も高い肯定的評価（85%）が維持されており、校長を中心として教職員が協力しながら教育活動に取り組んでいる様子がうかがえる。

教職員の団結力や組織的な対応は、本校の教育活動を支える重要な基盤となっており、安定した学校運営につながっているものと考えられる。

また、学校の重点目標や教育活動については概ね理解されているが、今後も学校運営の方針や取組について丁寧に伝えていくことで、保護者および地域の理解をさらに深めていくことが望まれる。

本校の学校運営は組織的かつ適切に行われており、教育活動を支える体制が確立されていると評価できる。

## 9 家庭と学校と地域の連携について

家庭と学校の連携については、アンケートの数値においては一部の項目で肯定的評価がやや低い傾向が見られるものの、実際には多くの保護者が学校の教育活動に関心を持ち、協力的な姿勢を示している様子が見える。特に、保護者による学校行事への参加や協力の機会は増加しており、学校と家庭との連携は着実に深まっているものと考えられる。また、家庭と学校と地域を結ぶ存在として「おやじの会」の活動が非常に活発化しており、学校の内外の活動に大きく貢献しているなど、学校と家庭が相互に理解を深めながら教育活動を支えている状況が見られる。

地域の幼稚園・小学校・中学校との連携や交流活動については、実施前後に予告や報告の発信があれば保護者の意識に残りやすいだろう。されているのかもしれないが、今までより保護者の記憶に残るような内容で発信する工夫はできないだろうか。自分が参加、協力することは難しくても行われていることを知るのさほど難しくないであろう。

今後も、保護者が参加しやすい環境づくりや情報提供の工夫を通して、家庭と学校との連携をさらに充実させていくことが望まれる。

地域との連携については、今年度も肯定的評価が高い。地域の方々が学校の教育活動に関心を持ち、理解を深めていることは、本校が地域に支えられた学校として機能していることを示している。また、教育活動を通して地域との関わりをもつ機会が設けられていることは、児童の学びを豊かにするうえで重要な役割を果たしているものと考えられる。

## 10 学校の安全性について

学校の安全性については、今年度も非常に高い肯定的評価が維持されており、児童が安心して学校生活を送ることができる環境が整えられていると保護者が判断している様子が見える。

学校は日常の安全管理に加え、災害時の対応についても計画的に取り組んでおり、その内容を保護者に適切に伝えていることが、保護者の安心感につながっているものと考えられる。また、地域との連携を通して安全性の向上に努めていることも、高い評価につながっていると考えられる。今後も、児童の安全確保を最優先としながら、安全で安心な教育環境の維持に努めていくことが望まれる。

## 11 学校独自項目について

学校独自項目であるコミュニケーションに関する評価については、児童および保護者の双方において非常に高い肯定的評価が見られ、家庭における親子関係が概ね良好であることが見える。

一方で、コミュニケーションは単に会話の頻度だけでなく、その内容や質も重要であることから、数値のみで実態を判断することは難しい側面もある。児童の成長に伴い、家庭と学校がそれぞれの役割を果たしながら、児童の健全な成長を支えていくことが重要である。今後も、児童が安心して生活できる環境を家庭と学校が協力して支えていくことが望まれる。

## 12 【総評】

本年度の学校関係者評価アンケートの結果から、本校の教育活動および学校運営が全体として高い評価を維持していて、安定した教育環境のもとで日々の教育活動が着実に進められていることが見て取れる。

特に、教職員の方々が児童一人一人を大切にしながら丁寧に指導されていることは、児童および保護者からの高い信頼として表れているものと思われる。児童が安心して学校生活を送りながら、仲間と関わり、自らの力を伸ばしていく姿からは、本校の教育が確かな成果をあげていることが感じられる。

また、学校からの情報提供の工夫や、家庭および地域との連携の取組を通して、学校が開かれた姿勢を大切にしながら教育活動を進めておられることがうかがえる。保護者や地域の皆様との信頼関係は、本校の教育活動を支える大切な基盤となっているものとする。

総じて、本校の教育活動は、学校長のリーダーシップのもと、教職員が一丸となって、児童一人一人の成長を大切にした教育を着実に実践しているものと捉えている。

最後に、地域の方々がいつも変わらずに温かく東深沢小学校の子どもと教育を見守り、支えてくださっていることに心から敬意を表し、感謝申し上げたい。